

令和7年度第2回長久手市行政改革推進委員会 議事要旨

| 議 事 概 要       |  |
|---------------|--|
| 会議の名称         | 令和7年度第2回長久手市行政改革推進委員会  |
| 開催日時          | 令和7年10月14日（火）午前9時30分から午前10時45分まで   |
| 開催場所          | 市役所北庁舎2階 第5会議室   |
| 出席者氏名<br>※敬称略 | <行政改革推進委員> 5人<br>会長職務代理 細萱 健一<br>委員 室 淳子<br>委員 服部 亜由未<br>委員 畑中 達也<br>委員 近藤 恵美子<br><事務局> 5人<br>総務部長、総務部次長、行政課長、庶務係長、庶務係主事 |
| 欠席者氏名<br>※敬称略 | 会長 石橋 健一<br>委員 岡崎 信久<br>委員 青山 正秋   |
| 傍聴者人数         | 1人   |
| 会議の公開・非公開     | 公開   |
| 審議の概要         | 令和7年度外部評価振り返りについて  |
| 問 合 先         | 長久手市総務部行政課 0561-56-0605  |

1 事務局から、資料に基づき次の点について説明

- ・外部評価の議事要旨の共有（市HPに掲載しているものの再掲）
- ・外部評価実施後委員コメントをとりまとめた旨報告

<質疑等>

職務代理 外部評価の実施結果に関し、意見、感想、委員コメントに対する修正依頼等あれば発言してください。

委員 外部評価を終えて、担当課に動きはあったか。

事務局 例えば福祉課からは、地域活動支援センター運営事業について、外部評価をふまえて送迎の課題について認識し、次年度予算について検討していると聞いている。ス

テップは1つ上がったと思っている。

委員 外部評価意見に対する担当課の反応は、決してそのように前向きな意見が全てではないと思うので、前向きでない意見も聞きたい。

委員 外部評価実施後に委員が行政課に提出した意見は、担当課にはいつ展開されたのか。

事務局 この会議後に展開する予定である。

委員 8月に提出したコメントなので、この間放置されていたのは心外である。担当課の事業見直しに反映させるためにも、早く展開すべき。

事務局 委員の指摘のとおり。外部評価実施後にあまり間を空けずに本委員会を開催するようにする等、今後、外部評価の事務の流れを改善したい。

委員 外部評価の議論の内容を忘れるようなことがあってはいけないので、スピード感大切にすべき。

委員 自主防犯活動支援事業について、この事業は、例えば従来あった組織を延命する仕事のような、古い行政の典型かと思う。青パトの活用は、効果的だからやっているというより、持っているから活用しないと、という思いでやっているのではないか。そのせいで、ジョグパトなど新しい事業に軸足を移してしていけない。

こういう事業を見直して新しい事業に予算を投資していくことが大切かと思う。ぜひ次のアクションにつなげていってほしいと思う。

## 2 事務局から、資料に基づき今後の外部評価の実施に向け、以下の点について説明

- ・欠席委員から行政改革のあり方や外部評価実施方法について意見があったこと。
- ・令和7年度新たに実施した「外部評価事前議論」など外部評価の進め方について

### <質疑等>

職務代理 意見や質問等あれば発言してください。

委員 他市では複数年度にかけて外部評価を行うこともあるとのこと。本市も単年度で

終わるのでなく、次年度に継続してもいいのでは。そうすると、事業の内容の理解につながるし、より良い改善提案もできるかもしれない。

職務代理 外部評価が実のあるものになるために、外部評価の後どうなったか、後追いはした方が良い。

事務局 やりっぱなしになることは避けていきたい。後追いできるよう検討したい。

委員 委員の意見にもあるが、ある程度行政課が担当課の補助を行えると、担当課は次のステップに行きやすいのではと思う。

事務局 担当課が業務改善を検討する際、予算の問題が絡むことが多い。そうすると、市の経営を担う財政課や企画政策課と検討する必要があるので、なるべくそれらの課と情報を共有できるよう、財政課、企画課と行政課で、行政評価に関する担当課ヒアリングの場を設け始めた。担当課をバックアップしていけるように考えていきたい。

委員 何年か前に外部評価でお伝えした意見が結局どうなったのか、聞いていいものか悩んでいた。

例えば色金山の木が生い茂っており、展望台から景色が見えないので木を伐採してはどうかという意見。伐採には費用がかかるから、実施の優先順位が上がらないのかもしれない。それで食い下がらなければならないのか。

事務局 限りある財源で市政を運営しなければならないので、優先順位があるのは間違いない。なので必ずしも外部評価での意見が採用されるわけではないが、担当課・財政課等が予算の優先順位をつける上で、その意見は補助的な要素として働くので、積み重ねていくことが大事だと思う。

委員 財政課の予算の業務について外部評価をするのはどうか。予算の使い方、選び方を聞いてみたい。根幹に関わる部分なので難しいかもしれないが、良い機会なので。

委員 外部評価の前に事前議論を挟むのは、良かったと思う。特に地域活動支援センターのように複雑なものは、事業内容がよく分からないままでは意見を述べるのも難しい。外部評価対象事業数は、令和6年度から令和7年度に2つ減らしたのは、減らしすぎではないか。例えば2つは継続、2つは新規の事業としてはどうか。

委員 事前議論に参加できなかったが、そういった場を設けることは大変よいと思った。  
事業数は、4つあっても良い。新規と継続のバランスも大事かと思う。

事務局 事前議論への担当課の出席について、担当課は出席させなかったが、どうだったか。

委員 なぜ担当課がいないのだろうとは思った。

事務局 担当課を出席させてしまうと、本番と同じになってしまうので、あえて欠席とした。行政課が委員の質問に答えられるようにするために、行政課にとっても学習する機会ができ、良かったと思った。